

# 第2回 市川・荷風忌のお誘い

市川を終焉の地とした文豪・永井荷風（ながいかふう）は、1959年（昭和34）4月29日、自宅近くの大黒家で、いつものようにカツ丼と日本酒を取ったのち、翌30日未明、独りで息を引き取っているのを、手伝い婦によって発見されました。享年79。

昨年（2009）の生誕130年・没後50年を記念して、市民が発起人となって開催された「市川・荷風忌」を、今年も開催します。終焉の地市川から、荷風の業績や描いた女性たちに想いを馳せたいと思います。

## 永井荷風 原作 映画「夢の女」上映と

## 作家・葉山修平講演「荷風作品に見る女性像」

日時 2010年（平成22）5月1日（土）

14時～17時（開場 13時30分）

定員200名

会場 市川市グリーンスタジオ（市川市生涯学習センター 2階）（無料 要申込）

講演後にフロアトークや、終了後に希望者で大黒家にて懇談会も予定

映画「夢の女」・・・1903年（明治36）荷風23歳の初期小説が原作で、深川州崎遊郭に身を落とした士族の娘の儂い半生を描く。久保田万太郎が1960年（昭和35）新派公演のために脚色した舞台台本をもとに、1993年（平成5）坂東玉三郎監督、吉永小百合主演により映画化。【松竹ほか 白黒 98分】



永井荷風『夢の女』一九九三年  
撮影／篠山紀信 提供／松竹 表紙  
吉永小百合

市川市文学プラザ（3階）で開催中の企画展「脚本家 水木洋子と日本映画の黄金時代」では、永井荷風と水木洋子の関わりについて展示中（6月20日まで 10時～17時 月曜休館）

市川市中央図書館（1階）やグリーンギャラリー（2階）でも、荷風関連展示を行います。



### 呼びかけ人 「市川・荷風忌」実行委員会

- 増山孝子(大黒家女将)
- 秋山忠彌(江戸史研究家)
- 梶山俊夫(画家)
- 神作光一(歌人)
- 吉清英夫(月刊「いちかわ」編集発行人)
- 能村研三(俳人)
- 橋本敏男(文筆家)
- 葉山修平(作家)
- 山崎敬生(風の会)
- 吉井道郎(作家)
- 吉原 廣(劇作・演出家)
- 岡本文子(和洋女子大学教授)
- 神田重幸(東洋大学教授)
- 木谷喜美枝(和洋女子大学教授)

### 問い合わせ・申し込み

272-0015 市川市鬼高1-1-4 生涯学習センター3階

### 市川市文学プラザ

TEL 047-320-3354 FAX 047-320-3352

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/bunpla/> (月曜休館)

市川市では、生涯学習センター3階の文学プラザと2階の映像文化センターを統合して、全国にも誇れる文学館整備計画を進めています。

予告 2010年12月にオリジナル演劇「荷風幻像」を江戸東京博物館ホール・市川市グリーンスタジオで上演予定!